

明治維新の三大改革.2

名前

解答

解答

問1 次の文章の括弧に入る語句を答えよ。

新政府は、1872(明治5)年に(A)を公布し、小学校から大学校までの学校制度を定めた。特に、小学校での教育が重視され、満(B)歳になった男女を全て通わせることが義務になった。しかし、授業料は家庭の負担だったことから、最初は就学率が低かった。

(A:学制) (B:6)

問2 下図は、住民の寄付などを元に造られた学校である。この学校は何か。



(旧開智学校)

問3 次の文章の括弧に入る語句を答えよ。

新政府は、国民を兵とする全国統一の軍隊を創るため、1873年に(A)を出し、満(B)歳になった男子は、士族と平民の区別なく兵役の義務を負うことにした。ただし、戸主とその後つぎ、身長が5尺1寸未満の者、代人料270円を治めた者などは徴兵を免除されたため、実際に兵役に就いたのは、平民の二男・三男がほとんどだった。

(A:徴兵令) (B:20)

問4 次の文章の括弧に入る語句を答えよ。

明治政府が1873年から実施した土地の課税方法の改革を(A)という。明治政府は、土地の所有者と価格(地価)を定めた後、土地の所有権を証明する(B)を発行した。そして、税は、地価を基準として定められた。税率は、地価の(C)%であり、土地の所有者が(D)で納めた。しかし、税の負担はほとんど変わらなかったことから、各地で(A)に反対する一揆が起こり、1877年に税率は地価の(E)%に変更された。

(A:地租改正) (B:地券) (C:3)
 (D:現金) (E:2.5)

